

# 災害に備えて



梅雨・台風の時期には集中豪雨になり、河川の氾濫や土砂崩れなど大きな被害のおそれがあります。

皆さんの記憶に新しいもので5月に立て続けに起きた、ミャンマー大型サイクロンや四川省で発生したマグニチュード8.0の地震、また国内でも岩手・宮城内陸地震において深い悲しみと自然災害という恐ろしさを目の当たりにしました。

和木町でも平成2年に起きた大雨による大洪水の被害は、まだ新しい記憶として残っていることと思います。

また地震もいつどこで発生するか分かりません。

私たち一人ひとりが災害や予防策の知識を身につけるとともに、地域全体の安全を守るため、地域住民が互いに協力しあう自主防災組織を活用し、大規模災害に備えることが大切です。

## 1. 非常持出品を準備しよう

災害が発生したとき、避難場所での生活に最低限必要な準備をし、いつでも持ち出せる場所に備えておきましょう。

非常持出品は、日頃からの準備・点検が大切です。いざというときのために・・・災害に備えて避難する時に、まず最初に持ち出すものには、次のようなものがあります。

### 非常食



カンパン、缶詰、ミネラルウォーター

### 携帯ラジオ



予備の電池は多めに用意

### 懐中電灯



できれば一人に1つ。予備の電池も忘れずに

### 救急医薬品



ばんそうこう、傷薬、包帯、風邪薬、胃腸薬、鎮痛剤

### 貴重品



現金、預金通帳、印鑑、免許証

### その他



下着、上着などの衣類、タオル、生理用品、粉ミルク、紙おむつ、ウエットティッシュ、カッパ、ヘルメット、ライター

## 2. もしもの時の心得

大雨や台風が近づいているとき、地震が発生したときはこんなことに心がけましょう。

### 台風や大雨のときは



- ◎台風情報を注意深く聞く
- ◎むやみに外出しない
- ◎停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオの準備
- ◎非難に備えて非常持出品の準備
- ◎断水に備えて飲料水や生活水の確保
- ◎浸水の恐れのあるところは家財道具などを高いところへ
- ◎病人や乳幼児、障がい者などを安全な場所へ
- ◎非難勧告が出ていなくても、危険を感じたら自主非難を

### 地震が起きたら



- ◎あわてず、さわがず冷静に
- ◎まずはわが身の安全を確保
- ◎揺れが止まったらすばやく火の始末
- ◎逃げ場の確保
- ◎火が出たら消化を
- ◎非難のときは、落下物に注意
- ◎狭い路地や、塀ぎわ、がけ、川べりに近寄らない
- ◎非難は徒歩で
- ◎荷物は最小限に
- ◎皆で協力して応援救護
- ◎正しい情報をつかむ

## 3. 万全ですか？わが家の風水害対策

梅雨や台風の時期には豪雨や長雨が予想されます。土砂災害や河川の氾濫などに備えて防災対策を考えましょう。

\*災害が起きた時の家族間での連絡方法や避難場所などを日頃からはなしあっておきましょう。

## 4. 地震に備えて

皆さんの地域でも、互いに協力して自主防災組織を結成させましょう。

\*いざというときに落ち着いて行動ができるように、もう一度家族や地域で「地震に備えて」できることを話し合ひましょう。

## 5. 知っていますか？ — 避難場所 —

◎**自主避難所** 台風等の自主避難場所は次のとおりです。

\*旧菊水地域……和 вод町中央公民館

\*旧三加和地域…三加和公民館 農業就業センター 春富集会センター



地盤が緩み決壊した道路（県道竈門・菰田・山鹿線）